

ICTを活用したみんなでつくるバリアフリーマップ

優秀賞

(一般社団法人WheelLog 実施地域:全国)

世界初、プローブ情報を活用したみんなでつくるバリアフリーマップ

車いすでの外出における課題

- ・目的地周辺のバリアフリー状況がわからない
→トイレ・飲食店・駐車場・宿泊施設・公共交通など
- ・目的地への移動経路がわからない
→傾斜のきつい坂道や階段があると先へ進めない
- ・Webや現地でバリアフリーマップが見つけれない
→情報へのアクセスが確保されていない
- ・バリアフリーマップの情報が不十分
→情報の更新がされず、内容も詳細ではない



車いす利用者に加え、多様なユーザーによる投稿により、世界中のバリアフリー情報を集約！

スマートフォンを活用し、ユーザー同士が交流しながらバリアフリー情報を共有する「WheelLog!」(ウィーログ)を全国さらには全世界に普及させ、車いすでもあきらめずに“行きたい場所”へ行ける社会を構築する。

車いすでの行動範囲の拡大および社会のバリアフリーへの理解促進を実現

取組の定量的な効果(2019年2月末現在)

- ・スポット投稿数 15,386件(写真 42,387枚)、総走行ログ 4,406km
- ・登録者数 5,945人(内訳:車いす 1,795人、ベビーカー 502人、杖 249人、歩行者 3,408人)
- ・国や自治体、地域団体、教育機関等との街歩きイベントを開催(参加者延べ 700人以上)
- ・東京都(499件)、東京都町田市(371件)のオープンデータ活用(トイレ・エレベーター情報)
- ・開発費用 約5,000万円 年間維持費 約250万円(人件費除く)